

## 都市地域計画(City and Regional Planning)

担当教員名	大塚 毅彦、松原 永季	
学科・専攻、科目詳細	建築学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	専門科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 専門応用系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-1(25%) F-1(25%) H-1(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(d)(e)
科目の概要	本講義では、都市計画・建築学の立場から現代都市の抱える諸問題を経済・社会システムや生活様式の変化と関連づけながら、多面的に理解するとともに我が国の都市計画の歴史的変遷と現代的な課題について学ぶ。我が国の都市計画が抱える人口減少のまちづくり、福祉のまちづくり、地方創生などの講義やワークショップ、見学会を行う。	
テキスト(参考文献)	参考資料は適宜配布する。 参考文献：佐藤著、『新都市計画総論』	
履修上の注意	都市地域計画の基本的な考え方、現代都市の抱える諸問題の背景を理解すること。毎回必ず出席し、不明な点はその場で質問するか、QandAカードに記入する。	
科目の達成目標	授業初めに都市計画に関する記事に関して意見発表を行う。 都市地域計画を受講して以下の能力を習得することを目的とする。 1) 都市地域計画を技術、文化、法律、経済などの多様な文脈と歴史やライフサイクルなどの時間的な展開の中で理解し、都市地域計画手法で説明できる能力(学習・教育目標(H-1)) 2) 現代の都市空間が抱える諸課題について、ワークショップや見学会を通じて柔軟かつ計画論的・実践的な提案ができる能力(学習・教育目標(F-1)) 3) 自然・人間・環境との共生に配慮できる能力(学習・教育目標(A-1))	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外での予習や復習を必ず行うこと。 また、課題や小テストに備えて与えられたテーマについて取り組むこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	達成目標(1) 2回の定期試験で現代の都市計画手法・技術について説明できる能力を評価する(50%) 達成目標(2) レポート及びワークショップでの発表・質疑により授業内容が一般的感覚で受け入れられる内容であること。的確に表現され理解しやすいことを評価する(25%) 達成目標(3) レポートにより共生に配慮した関連分野の計画技術の理解度を評価する。(25%) 成績は以上3点について評価し、総合評価として60%以上達成したものを合格とする。 <希望者のみ> 自由研究(ボランティア体験・新聞雑誌記事批評など)	
連絡先	otsuka@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	<b>授業計画の説明、都市地域計画概論</b> 授業の進め方及び評価についての説明を行ったうえで都市地域計画の概論について説明を行う。
第2週	<b>超高齢社会に向けた福祉のまちづくり</b> 我が国の高齢者・障害者の置かれている住宅・住環境の現状と課題について説明を行う。
第3週	<b>バリアフリーからユニバーサルデザイン・インクルーシブデザインのまちづくり</b> バリアフリーからユニバーサルデザイン、そして英国のインクルーシブデザインのまちづくりについて、具体的事例にもとづいて説明を行う。
第4週	<b>福祉のまちづくり見学会（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）</b> 福祉用具、バリアフリー住宅などの見学及び研修を行う。
第5週	<b>人口減少社会下におけるまちづくりの課題と展望 1</b> 昭和40年代に開発された戸建て住宅地である明石市魚住町錦が丘地区を対象に、オールドタウンの空き家問題と再生手法について検討する。
第6週	<b>人口減少社会下におけるまちづくりの課題と展望 2（現地見学会）</b> 昭和40年代に開発された大規模公的住宅団地（明石舞子団地）の再生手法についてまちづくりセンターを訪問しリノベーションされた現地見学を行う
第7週	<b>都市景観とまちづくり</b> マンション建設問題を題材にして、街並・景観保全について説明する（三重県津市殿町）。
第8週	<b>過疎地域における地方創生の地域おこし・街並み保全（見学） 1</b> 林業とアートによる地域おこしの事例として、岡山県西粟倉村の「森の学校」での取り組みを見学する。さらに大原宿での歴史的町並み保全の事例について見学を行う
第9週	<b>過疎地域における地方創生の地域おこし・街並み保全（見学） 2</b> 林業とアートによる地域おこしの事例として、岡山県西粟倉村の「森の学校」での取り組みを見学する。さらに大原宿での歴史的町並み保全の事例について見学を行う
第10週	<b>住民主体の持続可能な地域おこし</b> 前回の見学会をもとに、藻谷 浩介著「里山資本主義」を課題本として、ワークショップ型の行動する読書会形式による地方創生についてディスカッションを行う
第11週	<b>環境共生のまちづくり（ワークショップ）</b> 環境・ごみ問題を題材に、地域における合意形成及び意見集約に関するワークショップを行う。
第12週	<b>防災とまちづくり</b> 地域での防災活動から地域防災計画、災害時要援護者の避難に関して説明を行う。
第13週	<b>市街地の再開発制度 1（開発許可制度、土地区画整理事業など）</b> 我が国の市街地開発の枠組みと代表的な制度（開発許可制度・土地区画整理事業）について、説明を行う。
第14週	<b>市街地の再開発制度 2（市街地再開発・住環境整備事業・地区計画など）</b> 前回に続き、再開発制度等の代表的な制度（市街地再開発法による事業の仕組み、住環境整備等）の仕組みと課題について説明を行う。
第15週	<b>見学会 市街地再開発の現状と課題（神戸市長田区）</b> 阪神淡路大震災後に行われた市街地再開発事業や密集市街地整備事業等の現地見学を行う
<b>期末試験</b>	